



# 奈良県感染症情報

令和3年第17週(4月26日～5月2日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

## 今週の概要

- 新型コロナウイルス感染防止策について
- 変異株 PCR 検査の実施状況

## ◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	4.50	(4.15)	↗	→	↑	→
2	RS ウイルス感染症	3.29	(2.15)	↗↗	↗↗	↗↗	↗↗
3	突発性発しん	0.44	(0.47)	→	→	→	↑
4	A群溶連菌咽頭炎	0.41	(0.53)	→	↓	→	→
5	咽頭結膜熱	0.24	(0.26)	↘	→	↘	↓

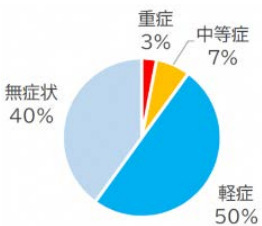
発生状況: **大流行** **流行** やや流行 **少し流行** 散発 (疾患毎に、基準値を定めています。)  
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの变化 **↗↗**急増、**↗**増加、**↗**やや増加、**→**横ばい、**↘**やや減少、**↓**減少

## ◆ 県内概況 ◆

定点把握感染症について、前週に続き RS ウイルス感染症が県内全域に多く報告されており、他府県同様に、流行の傾向が見られます。RS ウイルス感染症に対する特効薬はないので、予防対策をすることが大切です。手洗い・うがいなどの予防に加え、流行期には、なるべく人ごみに行かないようにしましょう。

新型コロナウイルス感染症について、第17週の県内新規感染者数は598名と前週よりも減少したものの、高い水準で推移しています。全国における重症者数が、過去最多を更新しています。引き続き、人との接触を減らし、感染リスクを下げる行動をお願いします。

## ◆ 新型コロナウイルス感染防止策について

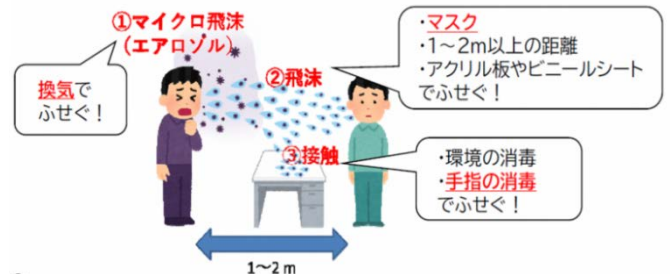


新型コロナウイルス感染症といえば、すごく重症になるイメージが強いかもしれませんが、実際には、**感染者の約9割が、無症状または軽症です。**

知らないうちに、**うつしたり、うつされたり** します。

**ふだん同居していない人とマスクをはずした状態での対面は、徹底的に避けましょう。**

3種類の感染経路があります。それぞれの感染経路を遮断しましょう。



出典: <http://www.pref.nara.jp/58323.htm> (奈良県)

## ◆ 変異株陽性者数・PCR 検査の実施状況 ◆

検査実施週	変異株PCR検査数			変異株陽性者数			国立感染症研究所におけるゲノム解析結果(判明数のみ)			
	(内)スクリーニング検査	(内)疑い検査		(内)スクリーニング検査	(内)疑い検査		英国	南アフリカ	ブラジル	解析不能
3月5日～4月11日	323	235	88	207	126	81	99	0	0	12
4月12日～4月18日	176	169	7	149	144	5	81	0	0	2
4月19日～4月25日	212	212	0	173	173	0	54	0	0	7
4月26日～5月2日	246	246	0	222	222	0	0	0	0	0
合計	957	862	95	751	665	86	234	0	0	21

スクリーニング検査: 検査可能なCT値35以下の検体を対象に検査を実施(変異株陽性患者の濃厚接触者等を除く)

疑い検査: 変異株陽性患者の接触者を対象に検査を実施

解析不能: 変異株陽性と判定し、国立感染症研究所へゲノム解析を依頼したもののうち、ウイルス遺伝子のコピー数が少なく、解析不能であった数

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

令和 3 年 第 17 週 4 月 26 日 ~ 2 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	55	14	14	11	10	2	4	
インフルエンザ								
小児科定点数	34	9	9	7	6	1	2	
RSウイルス感染症	112 (3.29)	11 (1.22)	18 (2.00)	20 (2.86)	57 (9.50)		6 (3.00)	
咽頭結膜熱	8 (0.24)		3 (0.33)	1 (0.14)	4 (0.67)			
A群溶連菌咽頭炎	14 (0.41)	1 (0.11)	2 (0.22)	4 (0.57)	5 (0.83)	2 (2.00)		
感染性胃腸炎	153 (4.50)	11 (1.22)	12 (1.33)	55 (7.86)	62 (10.33)	4 (4.00)	9 (4.50)	
水痘	2 (0.06)	1 (0.11)		1 (0.14)				
手足口病	1 (0.03)	1 (0.11)						
伝染性紅斑								
突発性発しん	15 (0.44)	4 (0.44)	2 (0.22)	4 (0.57)	4 (0.67)		1 (0.50)	
ヘルパンギーナ								
流行性耳下腺炎								
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	0	
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎	2 (0.20)			2 (1.00)				
基幹定点数	6	1	2	1	1	0	1	
細菌性髄膜炎								
無菌性髄膜炎	2 (0.33)			1 (1.00)	1 (1.00)			
マイコプラズマ肺炎								
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)								

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ( )は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核2件(奈良市1、中和1)
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症1件(郡山)
4類感染症	
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症2件(郡山1、中和1) 侵襲性肺炎球菌感染症1件(奈良市)

❖ 第 17 週のトピックス ❖

◆新型コロナウイルス感染症患者が使用したリネン類等を扱う時の感染リスクと安全かつ効果的なクリーニング方法(国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ka/corona-virus/2019-ncov/2488-idsc/iasr-news/10338-496p03.html>

◆廃棄物を扱う際に接触感染が疑われた清掃員や医療従事者のSARS-CoV-2感染(国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ka/corona-virus/2019-ncov/2488-idsc/iasr-news/10327-496p02.html>

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数  
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計	
インフルエンザ	男女																						1	
RSウイルス感染症	男女	3 5	5 2	21 20	18 18	9 7	1 2		1														58 54	153 120
咽頭結膜熱	男女			5	1				1														7 1	112 57
A群溶連菌咽頭炎	男女				1	3	3		1														8 6	146 116
感染性胃腸炎	男女		6 3	13 16	12 19	8 7	4 4	4 5	6 5	4 3	4 3	2 2	6 2		7 8								76 77	787 654
水痘	男女			1			1																1 1	17 19
手足口病	男女						1																2 1	
伝染性紅斑	男女																						1 2	
突発性発しん	男女		4 4	4 1	1										1								10 5	117 92
ヘルパンギーナ	男女																						3 6	
流行性耳下腺炎	男女																						9 5	
急性出血性結膜炎	男女																						1	
流行性角結膜炎	男女									1							1						2	25
細菌性髄膜炎	男女																						1	
無菌性髄膜炎	男女				1			1															2	2
マイコプラズマ肺炎	男女																							1
クラミジア肺炎	男女																							
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男女																							1

❖ 注目疾患の動向 ❖ 全て定点当たり報告数

